

## 活動報告

団体名	津野復光隊
活動名	台風19号により被災した長沼（津野）地区の農業の復旧・復興活動
活動期間	2019/10/13 ～ 2020/9/30
活動の成果	<p>&lt;2019年10月、11月&gt;農協と県社協の協力のもと農業ボランティアが立ち上がり、農地へのボランティア活動が可能になった。現地コーディネートで作業場所と内容の優先順位を決めボランティア配置を行う。津野地区をエリア分けし抜け落ちる畑がないようにした。果樹農地のゴミ出し、泥出し、樹の根元の泥かき&lt;12月、2020年1月&gt;軽トラ隊でゴミ運搬のスピードをあげた。農地のゴミ出し・根元の泥だしは終了し12/17に農ボラも終了。その後も個別にボランティア受入れは行い農地に取り残されたゴミの回収を実施。津野地区は市が指定する災害復旧作業優先区域に指定され、市と連携し果樹園を優先に廃土作業へ移行。新聞・TV等メディア出演し地域の現状を伝えた。10名がバックフォアの重機免許を取得。オペレーター不足が解消され作業が進んだ。</p> <p>&lt;2・3月&gt;津野復光隊会議/月8回、市と業者と地元園主による長沼地区排土安全協議会/月4回、市と業者による被災農地復旧説明会/月1回。水田の排土作業へ徐々に移行。市と相談しながら進行予定を組み現地コーディネートを行った。泥排除した農地への客土作業（排土作業により土が取られすぎ、水はけが悪くなった畑へ良質な土を戻す作業）を市が実施。地権者へ客土要請アンケートを取り状況把握を行い作業の有効的分散が図った。その後新型コロナウイルスにより、ボランティアの受け入れを停止したため農地復旧・復興は足止め状態となった。</p> <p>&lt;4・5月&gt;市と農協、長沼住民による長沼地区排土安全協議会会議/月2回 果樹農地の泥出し作業に関しては99%、水田は86%終了。新型コロナウイルスの影響で活動自粛を余儀なくされた。住民のみでLINEグループ『津野ほっこりクラブ』を作成し、情報共有を行い住民の意見の吸い上げにも利用した。</p> <p>&lt;6～8月&gt;津野復光隊会議/月4回 耕作放棄地の増加により黒星病が多発。発生地の殺菌消毒を行う。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>農業収益につながる活動を目的としてやってきたが、津野地区における90haの農地に復旧作業に入ることができた。農地再生・果樹救出を早期に実現出来たため令和2年度の収穫が見込める予定となっている。8月からは収穫期を迎え収益が発生している。1年でここまで復旧できたことはとても大きな成果である。発災当初は離農すると言っていたりんご農家も希望が湧き、継続すると気持ちを切り替える方が出て、離村者の食い止めにも繋がった。まだ課題は多く、今も遊休農地が多数存在している。耕作者の減少と維持管理の対策が問題となってくる。</p>

(活動のようす)

